
声がする...

早川 眞治

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

声がする…

【Nコード】

N7732A

【作者名】

早川 眞治

【あらすじ】

それは、突然迎えに来た…アナタは、誰なの？

（前書き）

思いつくままに書いたもので、矛盾等があると思いますがご了承下さい。

コツコツ―コツコツ―暗闇に響く足音…。この足音は、どこに向かっているのか…何をするのか…人なのかすらワカラナイ…ただ言えることは、動いていると云うことだ…

「コンバンハ」

声がする…。

「あなたは、誰？暗くてよく見えないけど…誰がいるんでしょう？」

僕は、闇に向かって声をかける。

「アナタラムカエニキタノ」

闇から返事が返ってくる…。

「僕を迎えに？誰なの？」何もない…正確には、何も見えない世界での会話…。

「ソウ アナタラムカエニキタノ」

彼…いや…彼女…男なのか女なのか…それすらわからないが…その声は、迎えに来たとしか言わない。

「何で僕を迎えに？」

僕は、せめて理由を聞きたかった…。

「アナタハ クルマニヒカレタノ ダカラアナタヲ ムカエニキタノ」

車に…ヒカレタ…ボクハ…それ以上考えられなかった…考えてしまったらもう戻れなくなりそうな気がして…

「デモ…僕ハ…」

コワイ…恐怖で口が上手く、開かない。

「アナタハ…」

声が聞こえてくる。

「云わナいで！！云わナイで…」

云われたら消えてしまいそうな気がして…。

「イキマシヨウ」

なだめるかのような声で言った。

「いやダー！絶対に行かない！！」

僕は、必死に叫んだ。

「ホントウニ コナイノ？」

叫びに対して相手は、とても落ち着きながら聞いてくる。

「絶対に行かない！！帰って！！」

僕は、恐くて叫びながらじゃないと伝えられなくなっていた。

「ソウ…ソレナライイ…バイバイ…」そう言って声の主は、どこかへ行ってしまった。

「セツカク…ムカエニイッタノニ…ゲンセニ カエレルハズダッタ
ノニ…」

（後書き）

初作品です。今回の話は、自分の心の闇が書いた…というようなイメージです（わかりづらいですがノ笑）では、また次回

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7732a/>

声がする...

2011年10月3日10時50分発行